

令和4年1月11日
布水中学校 保健室

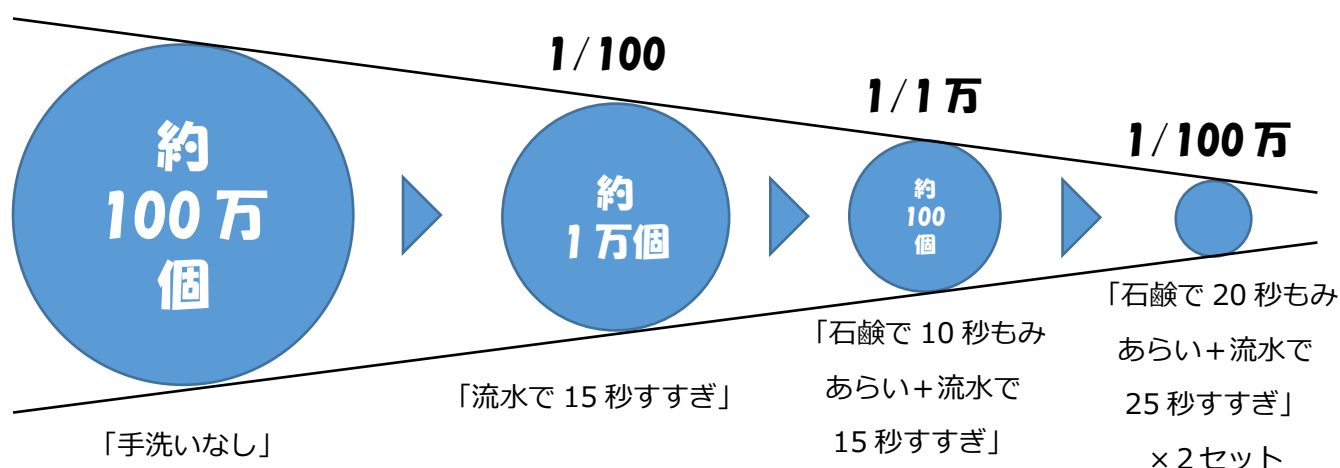
あけましておめでとうございます。みなさん、今年の目標は決まりましたか？健康第一はもちろんのこと、新しい目標をたてて、また1年がんばりましょう♪

一昨年・昨年は「新型コロナウイルス感染症」との闘いが続く2年間でした。そして、年明けから沖縄県を始めとして、他県で感染者数の急増がみられています。まだまだウイルスとの闘いが続きますが、これまで通り日常の行動に感染予防をとりいれ定着化し、今できる範囲で学校生活を充実したものにしていきたいと思います。

3年生は、いよいよ今月末に私立入試もせまってきました。各自体調管理をしっかりおこない、万全の状態受験に臨めるようにしましょう。

その手洗い、   → ! ?

確実に菌を減らせていますか…？



この図、覚えていますか？昨年の1月のほけんだよりに掲載しました。

(卒業した3年生の保健委員さんに、図式で見たらハツとして、手洗いの重要性がわかった！と感想をもらったので、今年も載せました。)

図でもわかるように、石鹼を使用するかどうかによっても大幅に効果の違いがあります。「石鹼で20秒もみ洗い+流水で25秒すすぐ」ことで、ウイルスは減らせます！指先や爪の間まで丁寧に洗うこともポイントになります。

水が冷たく感じるようになった11月ごろから明らかに校内の石鹼液の減りが遅くなりました。先生自身も振り返ると、冬は水が冷たいのでササッと洗って終わってしまいがちな…と思います。ただ、冬は空気の乾燥等環境要因もあり、新型コロナウイルス以外の感染症も流行りやすくなります。そして、手洗いは一番簡単で取り入れやすい感染症対策です。寒さ、水の冷たさに負けず、しっかり行っていきましょう♪

マスクの素材での違い

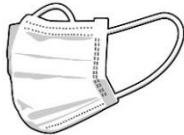


①吐き出し飛沫量 ②吸い込み飛沫量



学校生活はたくさんの人と関わるので
不織布マスクを着けることを推奨します😊

① 不織布マスク

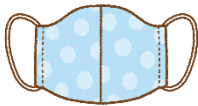


①20%

②30%

吸い込み飛沫量では、不織布マスクの場合はマスクと顔に隙間がある場合でも、飛沫量を3分の1ほどにできる

② 布マスク



①18～34%

②55～65%

布マスクは、不織布やウレタンに比べて通気性が良く、性能も比較的良い

③ ウレタンマスク



①50%

②60～70%

おしゃれさが人気のウレタン製マスクは、不織布と比べて性能は劣る

参考資料：豊橋技術科学大のプレスリリース

新型コロナウイルス感染症対策について ～保護者の方へのお願い～

1. 学校へ登校する前に

- ・お子様の**毎朝の検温**をお願いします。(登校後「健康観察カード」に記録します)
- ・発熱・風邪症状など、**体調が悪い場合は、無理に登校させず、自宅で過ごすようにしてください。**

※オミクロン株の症状として鼻やのど、いわゆる上気道の炎症が多いと報告されています

2. 連絡について

- ・もし、**同居家族や生徒本人がPCR検査を受けることになった場合や濃厚接触者となった場合は、速やかに学校(TEL.076-248-0039)までご連絡ください。**

※休日は、野々市市役所(TEL.227-6000 or 227-6150)に連絡し、市教育委員会を通じて学校と連絡がとれるようにしてください!

3. 学校登校後の対応

- ・登校後に体調不良が見られた場合は、**(熱がなくても)全て早退措置をとらせていただきます。**今後の感染者増加が予想されるため、1月から再度**保健室での休養は中止**します。ご理解・ご協力をお願いします。また、職場等の変更で緊急連絡先に変更がある場合は速やかに担任に連絡をお願いします。